

多摩都市モノレール町田方面延伸促進協議会

市民、議会、行政が一体となって多摩都市モノレールの延伸を促進し、産業経済の発展と市民生活の向上に資するため、2013年2月に町田市と市内関係団体で「多摩都市モノレール町田方面延伸促進協議会」を設立しました。

機 関 団 体	町田市
	町田市議会
	町田商工会議所
	町田市町内会 自治会連合会
	町田・相模原経済同友会
	町田市商店会連合会
	町田市農業協同組合
顧 問	町田市観光コンベンション協会
	東京都議会議員（町田市選挙区選出）
特別顧問	衆議院議員

これまでの 気運醸成活動

多摩都市モノレール町田方面延伸促進協議会

ギネス世界記録挑戦イベント ～チャレンジまちだ2015～



2015年「つながれモノレール！つながれ紙チェーン！」で1時間で作った紙チェーンの長さが3142.15mとなり、ギネス世界記録を達成！

署名活動



2015年「多摩都市モノレールの町田方面延伸の実現」を求める署名が10万人以上集まり、東京都に提出

シンポジウム



2015年～2018年 計4回開催

町田商工会議所 都市整備・まちづくり委員会

モノレールを町田によぼう！ キャッチフレーズ大募集キャンペーン



2018年 町田市主催『まちだ〇ごと大作戦 18-20』チャレンジ事業として参加！

「ALL まちだでモノレールを町田によぼう」パネル展示会



2019年 展示会・セレモニー開催

未来乗せ 僕らの町にモノレール 町田 未来駅 シンポジウム



2021年 シンポジウム開催

未来のまちだに モノレールを！



多摩都市モノレールとは

多摩都市モノレールは、多摩地域における相互の連携を強化し、多摩地域の南北方向の公共交通をより充実させるため、東京都と多摩都市モノレール株式会社とで整備されたものです。

全体構想は約93kmですが、そのうち1998年11月に立川北駅から上北台駅間が、2000年1月に多摩センター駅から立川北駅間が開業し、現在多摩センター駅から上北台駅間（約16km）で運行しています。

町田にモノレールができるまで

モノレールを延伸するには、まず導入空間となる道路整備が必要です。道路整備については、東京都と町田市が協力して進めていきます。

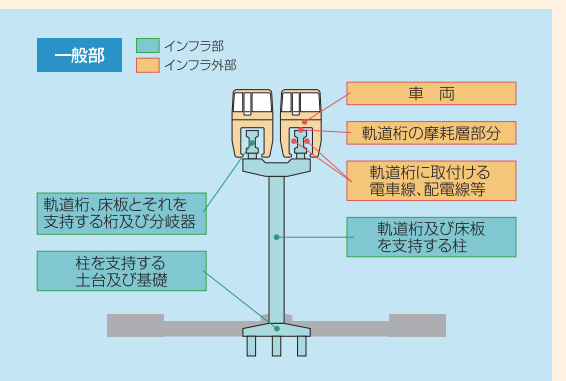
モノレールの軌道桁、支柱、駅などの基本的な施設（インフラ部）は、道路の一部として取り扱われるため、その建設は道路を管理する者が行います。

その他、車両や配電設備など（インフラ外部）の整備は、多摩都市モノレール株式会社が行います。

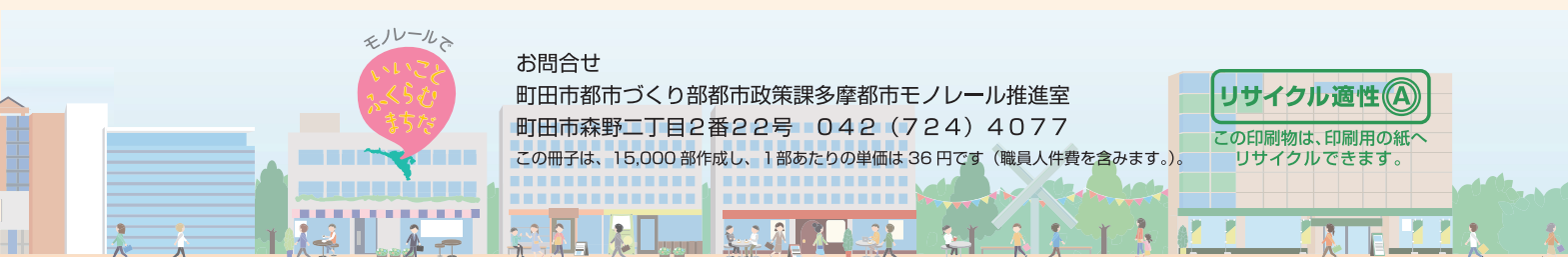
多摩都市モノレール 延伸計画概要



出典：交通政策審議会（答申）（2016年）



出典：一般社団法人 日本モノレール協会パンフレット



多摩都市モノレールが町田にやってくると、どうなるの？

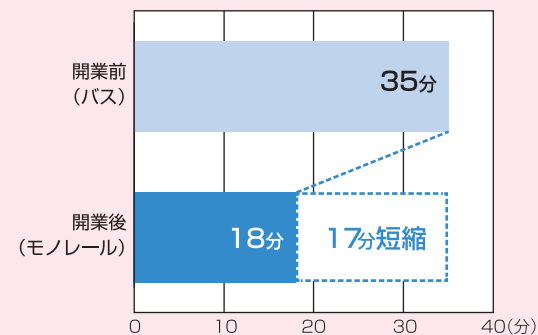
移動が便利になります

定時性・速達性の向上

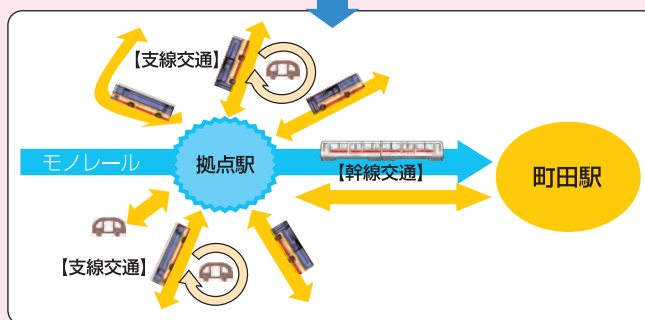
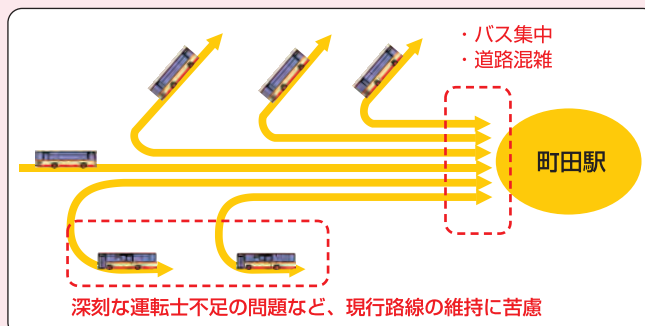
道路混雑の緩和

環境負担の低減

- モノレール開業による時間短縮効果 ※町田市試算
(小山田桜台団地～町田駅間)



- モノレールを幹線交通、路線バスを支線交通とした公共交通網が構築できます



- ひと1人を1km運ぶために排出するCO₂の量は自動車384gに対してモノレールは19g



東京都、町田市、多摩市、多摩都市モノレール(株)及び学識経験者で構成する「多摩都市モノレール町田方面延伸ルート検討委員会」において、2021年12月27日に延伸ルートが選定されました。

延伸ルートは、多摩センター駅から、小野路・野津田公園・図師・下小山田・小山田桜台・桜美林学園・町田市民病院・町田高校を経て、町田駅に至る全長約16キロメートルとなります。

現在取り組んでいるまちづくりの動きを進めます

中心市街地の活性化



大規模団地の再生



みどり空間の活用



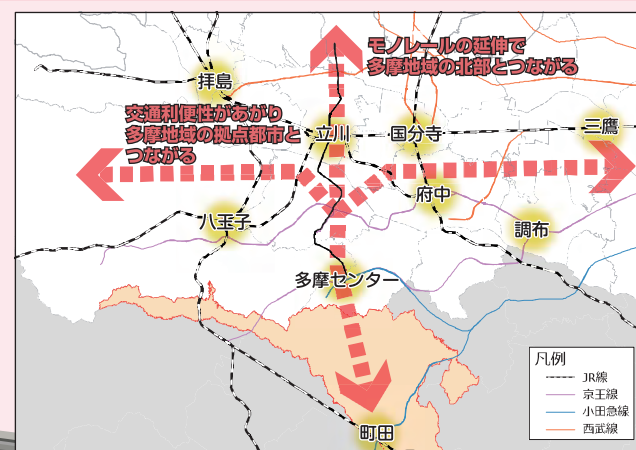
新たな交流が生まれます

- モノレール延伸による地域とのつながり

地域間の連携・交流の増大

文化・スポーツの発展

観光資源の活性化



暮らしやすくなります

定住人口、従業人口、事務所数の増加

新駅周辺への商業・業務機能の導入

生活利便施設の配置



- 多摩都市モノレール開業前後(2000年⇔2015年)での沿線地域とそれ以外の地域の人口等増加率の比較 ※町田市試算

